

防災と給食



流山市学校栄養士部会(南部地区)

流山市では、災害などの非常用にアルファ米を備蓄しています。そのお米の期限が近づき、入れ替えるタイミングで、学校給食に取り入れています。児童生徒の防災意識を高めるために役立っています。そのほかにも、各校で「防災」について考える給食を提供しています。

乾パン

食べ慣れない非常食を給食で食べる体験をしました。



防災ごはんの食べ比べ

水で作った時とお湯で作った時のごはんのどちらも味わいました。



セルフおにぎり

炊きあがったアルファ米を児童が自分で袋に入れ、おにぎりを作って食べました。



給食調理マンマンの調理

災害に備えよう!

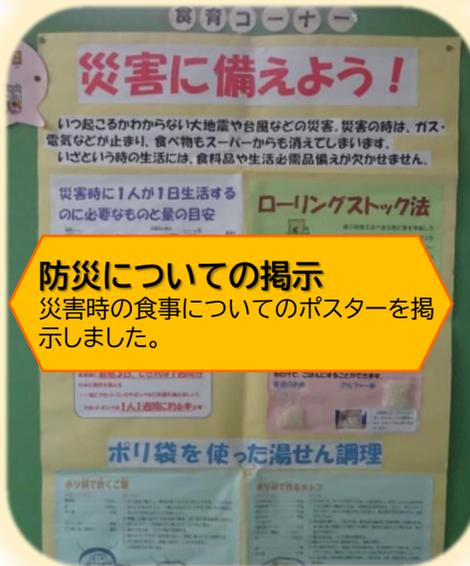
いつ起こるかわからない大地震や台風などの災害。災害の時は、ガス・電気などが止まり、食べ物もスーパーからも消えてしまいます。いざという時の生活には、食料品や生活必需品備えが欠かせません。

災害時に1人が1日生活するのに必要なものど量の目安

ローリングストック法

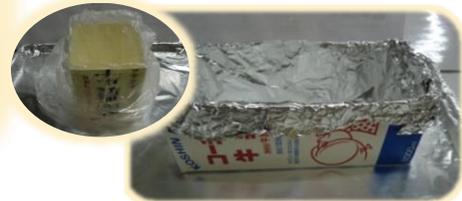
防災についての掲示

災害時の食事についてのポスターを掲示しました。



災害時の食器体験

牛乳パック等で作った食器を使って、災害時の食器を体験しました。



災害備蓄用米のセット内容

1箱50人分で、アルファ米や具材だけでなく、容器やスプーン、しゃもじなど入っており、水さえあれば、すぐに食べられるセットになっています。

- ①アルファ米 ②具材 ③衛生手袋×1組 ④しゃもじ×1本 ⑤スプーン×50本
- ⑥輪ゴム×50本 ⑦弁当容器×50個 ⑧作り方説明書×1枚
- ⑨針金入りビニールひも×3本 ⑩開封用カッター×1個

